

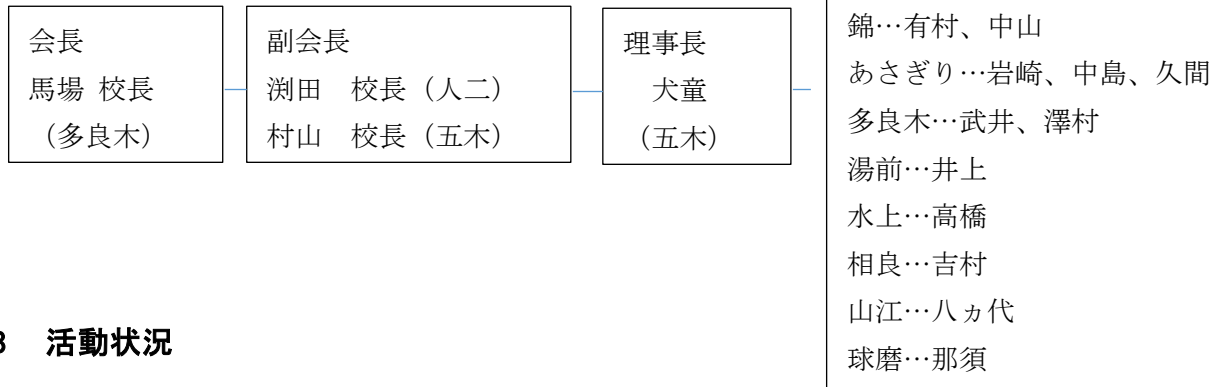
人吉球磨中体研

理事長 犬童 耕平

1 はじめに

今年度の人吉球磨郡市は、馬場哲也会長（多良木中学校）を中心に12校の保健体育科担当で構成されている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた取組を進めることができなかったが、令和5年度の熊本県中学校保健体育研究発表大会（人吉球磨）に向けて、来年度以降実践・研究を進めていきたい。

2 研究組織



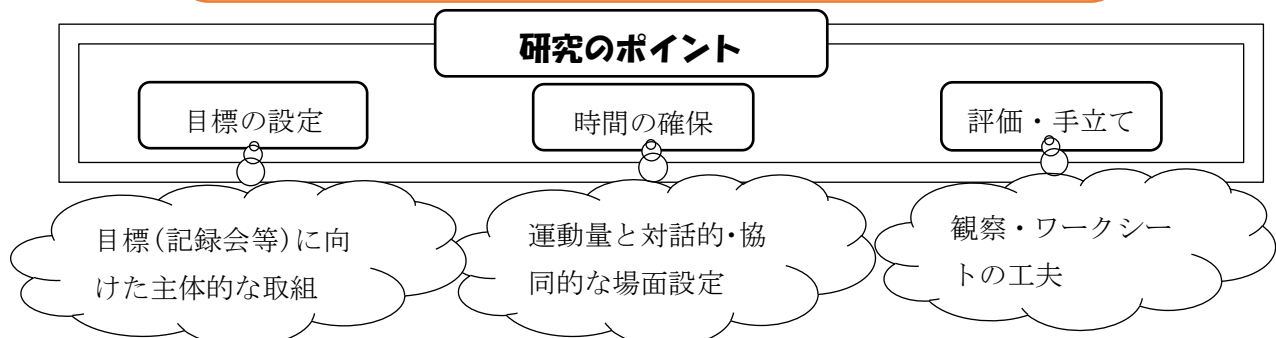
3 活動状況

	会議	期日	内容
1	第1回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	5月31日 (月)	研究組織・研究テーマ 本年度の研究内容協議
2	第3回人吉球磨体育研究会 (小中合同)	11月19日 (金)	水上村立岩野小学校 授業研究会
3	第4回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	1月18日 (火)	夏期研修会復講 実践報告・研究のまとめ

※第1回研究会及び第4回研究会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 研究テーマ

＜人吉球磨体育研究会（中学部会）研究テーマ＞
自ら運動の喜びや楽しさを求め、
生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方
～主体的・協同的・対話的な男女共習による学習展開の工夫～



5 研究の概要

○ 小体研との合同授業研究会

人吉球磨郡市では、隔年で小学校と中学校の保健体育科授業研究会を行っている。令和3年11月19日（金）に水上村立岩野小学校で小体研との合同授業研究会を実施した。授業内容は、第4学年「B 器械運動領域 ア マット運動」だった。



主運動につながる基礎感覚づくり



児童の成長や動きのポイントを全体で共有



課題解決に向けた活動の場を選択し、個人練習



撮影した動画を大型テレビに映し出し、課題を共有



端末上のデジタルカードに振り返りを記入



小・中体育担当者合同で授業研究会

【授業研究会での成果】

- ・児童の言葉でめあてが設定され、児童自身が前時とのつながりを意識して本時の目標や目指す姿のイメージをもつことができていた。
- ・毎時間「ローテーション活動」（基礎感覚づくり）を取り入れたことで、マット運動の技能習得につながる基礎感覚を身に付けていた。
- ・グループ毎に「撮影タイム」で録画した映像を大型テレビに映し出し、実際に画面に書き込みながら課題の共有をすることができた。
- ・タブレット端末上のデジタルカードに振り返りをさせることで、集約がスムーズになり、集団としての目標達成度や評価、課題の把握などにつながった。

6 まとめ

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの取組が中止となったが、小中合同授業研究会では、小中連携の視点でも議論が進み、大変有意義なものとなった。

次年度は、令和5年度に控えている学体研に向け年度内の組織作りを行い、新年度から早速研究に取り組めるよう準備をしていきたい。また、今後も小体研と連携した研修会を計画したいと考えている。